2007　北海道トレセンU-11冬季交流大会（8人制）　　競技規則（特別ルール）

ルールの基本的な考え方
① 審判２人制を採用し、選手のフェアプレー精神を養う。
② 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
③ 審判員の決定に従いいつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告する姿勢を養う。
④ 指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う。

審判員の試合運営上の留意点(共通理解)
① ２人制でおこなう。
② 審判員はオフサイドラインに位置取りをしながら判定をおこなう。
③ それぞれ、半分のコートを責任を持って判定する。
④ フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対しての言動にも注意を払い、指導していく。

ルールについて（JFA８人制競技規則との違い）

第 １条　競技のフィールド
① 試合会場の違いから、２会場のコートの広さが異なる。
※今年度は北村土里夢38m×46m、三笠ドーム45m×54m
② ゴールは少年用ゴールを使用する。
③ ゴールエリアはなくする。（ゴールキックは行わず、ゴールクリアランスとする）
④ ・ペナルティエリアの縦：８ｍ　　・ペナルティマーク：８ｍ
⑤ 天井やワイヤーなどに当たった場合は、その下の地点からドロップボールとする。

第 ２条　ボール
① 屋外用４号球とする。

第 ３条　競技者の数
① ゴールキーパーを含め８人。
② 前半と後半で競技者を入替えるようにすることを原則とする。
③ 交代は自由な交代とし、交代できる人数は制限しない。
④ 予備審はおかないので、各ベンチからの交代はフットサル同様にインプレー中もＯＫ。

第 ４条　競技者の用具
① 人工芝用イボイボシューズかフットサル用室内シューズとする。
※北村土里夢は屋外用スパイクの使用が可である

第 ５条　主審
① 主審２人制とする。

第 ６条　副審
① ２人制では、どちらかが副審という考え方ではない。

第 ７条　試合時間
① １７分ハーフで、インターバルはとらない。

第 12条　反則と不正行為
① 退場（Ｒ）は退場処分に加え、相手チームにＰＫを与える。（インプレー、アウトオブプレーに限らず）
・退場の場合、当該チームは交代要員の中から競技者を補充できる。
・再開はＰＫの結果による。(キックオフ, ゴールキック, コーナーキック, プレー続行)
② ベンチからのコーチングはポジティブなもので監督のみができる。
・主審からの注意に対しても改善が見られない場合は退席処分とする。

第 13条　フリーキック
① 相手競技者は６ｍ以上ボールから離れる。

第 16条　ゴールキック
① ゴールキックの変わりに、ゴールクリアランスを行う。（手で投げる）
② パントキック、ドロップキックも禁止する。
③ 転がっているボールはキックを行ってよい。

第 17条　コーナーキック
① ボールがインプレーになるまで相手競技者は６ｍ以上はなれる。